

# 尊徳像建て替えにより戴きー

## 陶像いともわが庭に和す

昭和五十六年 七月 柏直樹地

昭和十一年の最初の銅像と今度の銅像  
再建のいずれにも尽力された人がいます。

その人は柏直吉さん(木場・七十四歳)です。

右の短歌は柏さんが、銅像再建で、それまでの陶像を譲り受けて、詠んだ短歌です。

そこで、柏さんに、尊徳像にまつわる様様なエピソードをうかがってみました。

さすがにこのままではいけないということになり、報徳が始まったのです。

### 村民一丸となつて 報徳運動の始まり

報徳は宗村仰一さんが始められたとが

柏 そうです。昭和八年に新潟市で大日本報徳社の講演会がありました。政友会の会長で役場職員だった宗村さんがその講演を聞いたんです。感激した宗村さんが、さっそく静岡県の掛川まで行って報徳の\*2研修を受けてきました。そして、憲政会の会長の渡辺平治郎さんの家まで行って\*3「政友会も憲政会もそのままいいから、とにかく報徳で手を握ってくれ」と夜を徹して説明したんです。翌

### 昭和の初め 村を二分した政争

昔の話になるんですが、昭和の初め、村はどんな状態でしたか。柏 とにかくあのころ昭和初期はひどい時代でした。昭和五年に米一表が十円から半値の五円位になってしまい、農家はたいへんでした。\*1青田売りが当たり前で、娘の身買人が公然と村に入ったりしてましたね。\*2 当時、政友会と憲政会が村をまっ二分に分けてしまつて、

### 一日百円貯金から 銅像再建を

銅像再建を思われたのは柏 五年程前に新聞に像のことが載ってました。それで、前の銅像の時も建てようと言いだしたのも私です。何とかしようと思いましたが、もう年ですから、今建てないことには……。

一日百円貯金をされたとか柏 ええ。五年前から始めました。これが石川さんに伝わって木場



現在、柏直吉さんの庭にある陶器の尊徳像

年(昭和九年)渡辺さんも掛川で研修を受けて、宗村さん以上に感激して村に帰ってきました。

それで村がまとまったんですか。

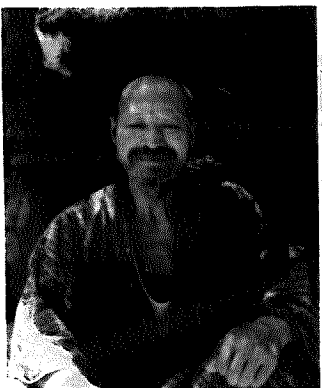
柏 ええ。報徳とともに負債整理組合ができて、二、三年後にはりっぱな村になってました。新聞でも村の改善ぶりが全国に報道されたりしました。

の「二宮尊徳」が昭和五年に単行本で出版されました。ちょうど米が大暴落した年です。

個人的にも、二宮尊徳を尊敬していただくのです。

柏 まあそうです。

銅像を作ろうという話を私が出したのは二宮尊徳に惹かれていたかもしれせんね。



▲戦前、戦後と銅像建立に奔走した柏直吉さん。

### 本で知った

#### 二宮尊徳

柏さんご自身はどうでしたか。柏 私は、子供のころから本が好きでしてね。\*4相馬御風先生を訪ねに糸魚川まで行ったことがありました。尊徳については、前から知っていました。というのには昭和の初め、キングという雑誌に\*5武者小路実篤が「二宮尊徳」を連載したんですが、それが大変おもしろかった。そ

### 銅像の費用は

#### 四百五十円

尊徳像を建てた時の「苦勞な」柏 私はまだ若かったし、本ばかり読んでましたから、あんまり村の人の印象はよくなかったということがあります。おまえなんか銅像が建てられるか」と言われたりしました。

木場小学校の他にもあったんです。柏 \*6大野小学校にありました。あれは、戦時中、新潟市から譲り受けたものを、私がリヤカー

で運んだんです。

### そして陶像は 柏さんの庭へ

柏 そうですね。木場の陶像は、今の柏さんの庭にあるんですね。柏 はい。おかげさまで、部落の人の協力で、銅像に建て替えてもらえまして、陶像は私の庭に置いてもらえることになりました。

それで詠んだ歌が、尊徳像建て替えにより戴きし陶像いともわが庭に和すです。

柏直吉さんは、七十四歳の御高齢にもかかわらず、たんたんとしつかりと話してもらいました。終始「私一人だけの力でないですから、強調された柏さんでした。昭和の五十六年間は柏さんにとって、二宮尊徳なしでは語れないのではないのでしょうか。まさに「人に歴史あり」です。



▲昭和五年に出版された「二宮尊徳のさし絵」

### 注釈

- \*1 青田売り 米の収穫を見越して金を受け取る。春耕前の「黒田売り」さえあった。
- \*2 研修 大日本報徳社の本社がある静岡県掛川で四十五日間の報徳研修が行われた。
- \*3 「政友会も……握ってくれ」 加藤仁平著「自伝」報徳教育の第一歩から柏さんが引用。
- \*4 相馬御風 明治、大正期の詩人。一八八三〜一九五〇。糸魚川市出身。「都の西北、早稲田の社に……」の早大校歌の作詞者としても有名。
- \*5 武者小路実篤 明治、大正、昭和期の小説家、志賀直哉らとともに「白樺」を創刊する。代表作「或る男」「友情」。
- \*6 大野小学校にあつた。現在の正面玄関前の池のあたりに尊徳像があつたが、昭和三十二・三年になく。黒島小学校にもあつたらしいが、現在は尊徳の銅版画が校門横にある。いずれも詳細は不明。